

大阪
新世界、新時代へ

日本経済新聞

2017年(平成29年)3月9日(木曜日)

星野リゾート 大阪進出

都市型ホテル、22年春に

星野リゾート(長野県軽井沢町)が大阪市に出す。大阪で同社初のホテルを2022年春に開業する予定。軽井沢や

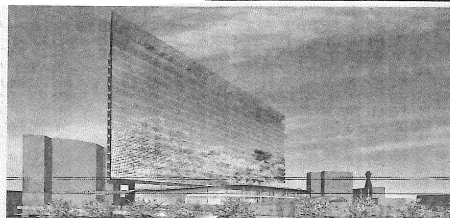
沖繩などのリゾート地を中心にした宿泊施設を運営してきたが、都市部での旺盛な宿泊需要を取り込むため、東京や大阪での展開を始めている。

子会社を通じて大阪市からJR環状線・新今宮駅前(大阪市浪速区)にある約1万4000平方メートルの土地を約18億円で取得する。運営は星野リゾート本体が担う。新ホテル

星野リゾートは大阪市長速区に都市型ホテルを開く(写真はイメージ)

ルのブランドは未定。

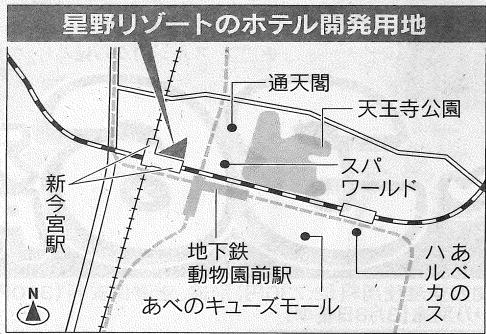
客室数は約600室を想定し、同社の施設としては「星野リゾートマム」に次いで2番目の規模になる。約500室は30平方メートルのスタンダードタイプを想定する。宿泊料金は未定だが、旗艦ブランドの「星のや」(平均7万58万円程度)よりは低く設定する見込み。昨年東京・大手町に開業した日本旅館「星のや東京」の料金は1泊1室7万8000円(食事別)から。



星野リゾートの関西戦略が加速してきた。大阪市が開発事業者を公募していたJR新今宮駅前(浪速区)の市有地約1万3900平方メートルに唯一名乗りを上げ、8日に市が事業予定者に決めたと発表した。関西では京都・嵐山で同社最高級ブランドの「星のや」を開設し、「ロテルド比較」も京都市内に立地するが、今後は大阪市内での展開を急ぐ。

星野リゾート 新今宮にホテル

都市型「庶民の街」で賭け



東京に続き第2弾

とは限らない」と同社減少する一方、「大阪の話は話す。背景には地方展 ような都市観光市場は世開していたホテル・旅館 界で拡大している」と同社を都心で強化しようとい 社は考えている。東京・同社の戦略がある。大手町で第1弾の高級旅館を開設しており、大阪 I T (情報技術) の進 館を開設しており、大阪 化により出張の必要性が 第2弾になりそうだ。

大阪市内では宿泊需要 が、新今宮の地名にかけ が大きい梅田・御堂筋周 辺でヨドバシカメラやオ ービック、積水ハウスが 泊者用温浴施設を整備。 ホテル新設を計画してい 20階建て600〜850 駅周辺は大阪が主導し 海道のとмам(占冠村) た都市型遊園地「フェス に次ぐ2番目の大型ホテ ティバルゲート」が短命 で終わった。飲食店街の 「ジャンジャン横丁」や 通天閣に代表される庶民 の街のイメージが強い。 しかし、星野リゾート は他社が応募を見送る中 で、新今宮駅前のホテル 用地を約18億円で購入す る予定。2022年春の 開業予定で、ホテルのブ 心南部に大きなインパク トを与える。

関

西